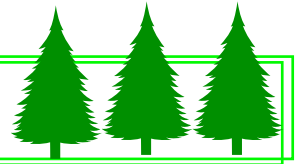


みつぎ便り



第177号 6月号 令和3年6月1日発行 http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report

板橋区役所南部土木サービスセンターの花づくりグループとエコボリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です



アジアンタム(ホウライシダ)

先日、ある園芸店で涼しげな草が並んでいました。同じ草を公園で見た様な気がしたので、詳しく調べてみました。すると、属名が「アジアンタム」、和名で「ホウライシダ」ということが分かりました。

アジアンタムはシダの仲間ではイチョウの葉の形に似ています。葉は繊細で柔らかく風になびく姿は涼しげな雰囲気を出しています。背丈は数cmから三十cm程度が多く見られます。

ミニ観葉植物として、育てやすく

暑さと多湿には強く、冬は寒さに弱く、乾燥に注意すれば栽培しやすいと思います。常緑性で多年草です。一年中楽しむことができます。

公園のデッキの下の日陰にたくさんあります。公園以外にも、身近な日陰の石垣、ブロック塀の隙間などに多く見られます。小さな鉢などに植え、盆栽のようにしても楽しめます。(圭)

オオヨシキリ

先日、見次公園の中の島に「ギョギョシ、ギョギョシ、ゲシ、ゲシ」と元気と言うよりは、うるさいと言つてもいいように鳴き叫んでいる野鳥がいました。その鳥がオオヨシキリです。ヨシの中に潜む虫を食べるため、ヨシを切り裂く行動からヨシキリと名付けられたと言われますが、その鳴き声からは「行々子」と言う別名もついています。体長は十八cm程度ですので、スズメより二まわりぐらいおおきめでしょうか。



いたばし野鳥クラブ 阿部憲一さん撮影

アジア大陸で冬を越し、日本には繁殖のため夏鳥として晩春から初夏に渡ってきます。その飛来地は、巣造りにも必要なヨシの生える河川や湖沼、湿地、草原などが一般的です。見次公園にいたのは通過途中をたまたま見つけたに過ぎないかと思えます。でも、こんな小さな池にすることは珍しいことです。(利)